

事業所番号 2590600066

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール 令和6年度【グループホーム常輝の里】

自己評価作成日：令和7年2月10日

外部評価作成日：令和7年3月13日

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話し合った内容	外部評価	記述
<b>I. 理念・安心と安全に基づく運営</b>							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人の理念からホームの基本運営方針立て実践に繋げるように努めているが、掲示はしてあるものの、入職時以降に直接意識づけする機会は少ない。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年1回広報誌「常輝の里ニュース」を発行し地域に全戸配布している。近隣のコンビニや商店に買い物に出かけた時、地域の神社に初もうでに出かけるなどしている。	自己評価の対応で良いのではないかと地域に解け合って協力すること、また交流も深めて事業所・地域と一体になって進めて下さい。地域の行事にグループホームとして参加することはできないでしょうか？常盤市民センターで喫茶を活用して参加されている地域住民と交流。地域主催の行事(ふれあい喫茶・ふれあい祭り)に、まずは参加するから再開されては。地域の催しに参加する。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の代表3名、地域包括支援センター1名、市担当課1名、理事長、施設長、管理者の8名で構成し、2か月に1回開催している。	運営推進会議に参加、課題などの解決方法などの話し合いをしている。定期的に会議が開催され十分な対応がされている。会議で出た意見をどのようにしてサービス向上にいかされたのかを運協で報告してほしい。市担当課からの取り組みに関する要望や事例を聞き取る。運営推進会議では、地域代表の方からも地域実態や施設に対する意見が活発に出ていると感じます。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議を通して、ホームの活動状況等を報告している。市と市内グループホームとの意見交換の場であるグループホーム会議もあるが、現在活動休止中である。	市との連携状況はよくわからない。コメントできない。市、関係者と協議し、グループホーム会議を再開されたい。グループホーム会議の再開を望みます。他の事業所と現状課題を共有し、市と連携強化してほしい。		

					現在の運営推進会議の中で、活動状況の内容について詳細に報告があるため、市としても実情把握につながっています。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入職時と年2回の研修を実施しており、身体拘束ゼロセミナーには毎年参加している。夜中以外は、玄関は解錠しており、出ようと思えばいつでも出られる状況である。入居者の様子を丁寧に観察し、行動制限ではない関わりに努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入職時の研修実施や身体拘束ゼロセミナーへ参加され、入居者の様子を丁寧に観察され、身体拘束をしないケアや虐待が見過ごされないように努力されている。 研修を通して、常に職員の意識づけができており、入居者に寄り添ったケアができています。 職員の身体拘束に対して研修が実施されていることや、ご利用者の行動が制限されることなく生活されている事がわかった。 各スタッフの意識の共有・理解の継続を期待します。 職員が、日頃から身体拘束ではないかという問題意識をもって従事するかによって、委員会や研修の意義も確実に向上するものであります。日頃のカンファレンス等でも留意できるような仕組みがあればなお良いです。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入職時に高齢者虐待防止法の研修実施。ストレスや疲労から不適切なケアが発生していないか、管理者、リーダーが注意するとともに、「虐待の芽チェックリスト」を年2回全スタッフが回り、振り返りや意識づけの機会としている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	5と同様 高齢者虐待の無いように指導を強化してください。 管理者・リーダーだけでなく、スタッフがお互いに意識づけができていて良い 定期的にチェックリストの確認を全職員が行うのは、良い取組であると思います。 チェックリストの結果をまた研修等に活かせるようにしていただければと思います。 「虐待の芽チェックリスト」を実施して職員の振りかえりや意識づけの機会が持たれている事が分かった。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在、成年後見制度を利用されている方はいませんが、権利擁護に関する学びの場を、年に1回は持てるようにしている。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約書、重要事項説明書について、丁寧に説明している。報酬改定時等、変更の際にも丁寧な説明に努めている。			

9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会時やLINEを活用し、コミュニケーションを取るようになっている。また、ホームページに意見箱を設けている。		A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ネットワークを活用しコミュニケーションされている。 いろいろな課題があると思うが、特に利用者家族とのコミュニケーションを大切にしてほしい。 家族の話の中にご利用者の事を知る機会や対応等の気づきがあるかもしれないので家族の意見は大切にしていきたいと思いました。 アンケートの実施等も検討もされては。 事業所に寄せられる苦情等は、概ねコミュニケーションエラーから生じていると思います。日頃のやり取りを重ねて、風通しの良い関係に努めていただきますようお願いいたします。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的な面談に加え、日頃からコミュニケーションを密にし、要望や意見を言いやすい雰囲気作りに努めている。ミーティングの機会は増やしていきたい。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新しいスタッフでも業務がしやすいようにマニュアルを整備している。勤務終了後すぐに退勤できるよう記録時間の整理を行った。職員の処遇改善を図るために加算を取得している。		A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	業務の標準化及び日頃より業務改善に取り組まれていることがうかがえます。 スタッフが働きやすい職場ができている。 マニュアルがきちんと整備され、活用できていることが大切 職員の仕事に対する意欲が向上するよう処遇改善をさらに進めていただきたい。 新人職員でも業務の差が出ないようにマニュアル整備が出来ている事はよいと思いました。 ミーティングの開催 マニュアルの整備に加え、職員の残業につながらないように工夫されているのが伺えます。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年度初めに研修参加についての意向を確認している。「認知症介護実践者研修」、その他、eラーニングも活用し可能な限り研修に参加できるようにしている。		A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護研修の受講を積極的に取り組まれていることがうかがえます。 今後もいろいろな研修に参加してください。 誰もが研修を受講しやすい職場づくりも大切 全職員が刺激合ってレベルアップできるよう研修に取り組んでほしい 研修参加が受けられやすい取り組みができている事はよいと思います。 日々の業務があるため難しい点もあると思いますが、職員の向上心につながるような研修参加につなげていきたいと思っています。

13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	滋賀県南部介護サービス事業者協議会等の研修に参加している。管理者が同市内や他市のグループホームへ見学に行っている。職員レベルでの他 GH 見学や交流機会はあまり持っていない。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員＝する側、入居者＝される側ではないという考えは、入職前・入居前から丁寧に説明している。過剰介助に気を付け、暮らしの主体者として、できることをしてもらい、感謝を伝え合える関係を意識している。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	かかりつけ医も馴染みの関係と捉え、入居後も継続して通院する事を基本としている。家族も含め入居前に関係のあった知人なども積極的に面会に来ていただくなど声掛けを行っている。	自己評価通りで良い 人間関係が良くなるように努めてください。 現状で十分できていると思う。 グループホーム内のご利用者どおしが、なじみの顔となるように一緒にできる体操等をする。 また、引き続き家族や知人の面会の声かけをしていく。 コロナ禍が明けて、自由に面会ができる環境になったことは利用者にとっても安心感・生活の張り合いにつながると思います。		

## II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の入居者との関わりの中から思いや望みを把握し、記録で共有している。また年数が経ち、状態変化がある方でも、以前の生活スタイルや思いを大切に継続できるようにしている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人やご家族の思い、希望等を汲み取り、計画作成担当者と担当スタッフで話し合い決めていく。医療面については、ホームの看護師や主治	日頃から本人の姿を見て仕事に活かしてほしい。 ご利用者のアセスメントとを職員とおしてしっかり落とし込み、計画書にはご利用者も入り、ご利用者の言葉で仕上げていってはどうでしょうか。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護計画は入居者、ご家族の希望などをできる範囲で取り入れられている。さらに医師の助言などももらうように努力されていることがうかがえます。 限られた時間と場所の中でケアと本人らしい生活をどう組み立てていくかを真摯に考えていただいている事がわかりました。

		映し、現状に即した介護計画を作成している		医に助言をもらい、ケアに繋げている。	計画作成担当者が他関係機関と連携することはよりよい計画に必須でありますので、必要性がなくとも日頃から主治医との関係を築いておいていただくとよいと感じます。	適切な時期での計画書の作成 現状、「あまりできていない」と感じられる点が複数あると思います。記述からは読み取れませんが、この評価に基づいて再度事業所内で検討いただけたらと思います。	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	タブレットでの介護記録の入力のほか、24時間チェックシートへの記入で、必要なケアの見落としを防ぐとともに、チームでの共有に役立っている。ケアの変更時などは、連絡ノートを活用し迅速に対応している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	記録の共用化による見落としのないように意識されている。 ケアの見落とし防止、情報共有に努め、迅速に対応できており、職員の負担を軽減できる方法で継続してほしい。 24時間チェックシートの内容が共有されており、チームでの支援ができていたことがわかりました。 個人差による業務過多にならないような、工夫を期待します。 電子機器を活用した情報共有について、以前の運営推進会議でもお話がありましたが、事務負担軽減に努めていただいていると感じました。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホームのやり方に入居者を合わせるのではなく、入居者の暮らしにスタッフが合わせられるように常に意識している。柔軟な支援やサービスの多機能化への取り組みに関しては不十分である。	入居者の思いに合わせたサービスになるように意識されている。 ひとりひとりを大切にする意識をもって支援することで、現状のままでもいいのではないかと外部や地域資源を取り入れサービスの多機能化を検討する。 職員研修での事例検討会で職員の経験を共有し柔軟なケアを意識できる。 事業所の心掛けは良いと思います。 柔軟な支援のもとになるのは、職員の確保でありますので、併せて検討していく必要があると思います。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍以降、地域に出ていく機会が減少している。ホームの畑、プランターの整備を地域の方に参加していただく事で、交流の機会とする事を計画中。	自己評価の計画案を実践してみてください。 こども園、保育所の園児たちとの交流はできないでしょうか？ 計画の実現ができる。 地域への働きかけ 次年度の常輝の里ニュースで畑での野菜作りのボランティアさんを再度募集してみる。その後、民生委員さん等から個別に声掛けしていただく等再度取り組まれます。 コロナ禍が明け全開とはならずとも、利用者の生活環境も開ける状態になりつつあると思います。 利用者の豊かな暮らしにつながるよう、計画を進めていただきたいと思います。		

21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居前のかかりつけ医の受診を継続することを基本としています。状態変化に合わせて訪問診療に切り替えている。主治医と連携を密に取り、日常生活上の留意点等を確認している。受診の際には医師への情報提供を丁寧に行っている。		
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入院時には早期に相談員と連携をとり、治療状況を把握し、必要時、入院中の様子(リハビリなど)を見に行き、退院に向けて連携している。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入院時に関係者と連携が取れていることがうかがえます。病院と連携できていて退院に向けての支援もしっかりできている。現時点でも連携の強い状態であると感じます。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居時にホームの方針として看取り対応していないことを説明している。重度化した場合、ご家族等とも相談の上、特養の申し込みを勧めている。申込代行等、必要な支援をしている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	重度化や終末期についての対応が理解できる。本人・家族に寄り添った支援ができている。入居時に丁寧に御説明していただくことで、利用者・家族の安心のみならず、次の選択肢を考える機会にもなると思います。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	非常勤で看護師を配置しており、医療面の助言が得られやすい環境となっている。応急手当や初期対応についての研修などの取り組みは不十分である。		
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	BCP策定済み。非常時の電源として、発電機2台準備。食材等の在庫は常時多めにしている。地域との協力体制は十分に築けていないので、課題と認識している。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	食料品の備蓄はできているが、地域との協力医体制ができていないとの自己評価は理解できる。いつどのような災害が起こるかわからないので、常に最悪な状況を想定し、訓練など実施してほしい。地域との協力体制を図れるように、日頃から情報共有ができる関係に努めてください。

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居者の思いを尊重したケアやフォローを心掛けている。特に、入浴や排泄時は、羞恥心に配慮したケアをしている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ひとりひとりを大切に思い、相手を尊重した支援ができている。今後も継続して支援いただきたいと思います。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ホームやスタッフの都合に合わせてではなく、入居者のペース、習慣等に合わせるようにしている。自身で訴えることが難しい場合、生活歴や入居後の関係で得た情報を基にしている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	食事に関する家事(洗米、食材刻み、食器洗い、台拭き等)はスタッフが全てにするのではなく、できる方に参加してもらっている。誕生日者には事前に好みを聞き当日のメニューを決めている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	食事が楽しみになるよう工夫されており継続してほしい。できる限り、日常生活に即した形で利用者が生活できるように取り組まれていると感じます。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	咀嚼、嚥下状態により、ソフト食、ムース食、トロミを使用している。毎日の水分摂取量観察、毎月の体重測定により、提供する量や種類を柔軟に変えている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	朝夕の口腔ケアは一人一人の状態等に合わせたしつかりと行っている。状態や希望により、毎月、訪問歯科診療にて専門的口腔ケアをうけている方が、現在3名いる。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	口腔ケアは健康維持のために不可欠でしっかり対応されており、今後も継続してほしい。今後も継続して取り組んでいただくことで、入所時よりも向上するケースがあると思います。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	排泄パターンをチェックし、表情や行動等からタイミングを図り支援している。今年度、リハビリパンツ使用から布下着に変更できたケースがあった。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	一番大変な業務だと思いますが頑張ってください。排泄の自立は職員の負担が大きいと思うが、積極的に取り組んでいる。今後も継続してほしい。今年度の事例は、職員皆さんの気づきがあってこそであり、好事例ですね。

		個々に応じた予防に取り組んでいる				
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	いつでも入浴できるスタンズではいるが、何らかの支援が必要な方は、2日に1回は入浴できるように勤めている。夜間入浴は現在1名のみ。		
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活リズムを考え、なるべく日中の活動を促すと同時に、状況に合わせて臥床を勤めている。本人のペースに合わせて、一律の起床・就寝時間とはしていない。		
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬の説明書きで、薬の目的、用法等を共有している。薬の変更等があった場合、注意深く観察し状態等を記録、共有している。向精神薬などの内服については見直しを行い減薬できるように努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	かかりつけ医院との連携を取り支援してください。 現状の取り組みを維持してほしい。 現状の服薬内容が適正であるか、本人の尊厳が尊重された服薬管理であるか、見直しを行っていただいているのは良い取組です。医療機関との連携も必須となりますので、継続をお願いします。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の会話から楽しみを探り、ご家族に話を聴くなどして把握している。特に女性の方は何らかの家事に参加している方も多く、役割として定着している。	入居者が自然に役割を担うようになる取り組みをされている。 役割があると生活の中に張り合いが出ると思うので、いろいろと試してもらいたい。 自分の役割があることで、安心につながります。	
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍では外出機会が激減したが、徐々に頻度は増えてきている。温かくなればさらに外出機会を増やしていきたい。	コロナ禍の影響でありやむを得ないのでは、徐々に取り組みを外出を手助けしてもらえるボランティアを募集し支援してもらうことはできないか	

37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	預り金としてホームで管理しており、毎月、出納帳をご家族へ報告している。それとは別に自身で所持している方も数名おられ、買い物などでは自己にて支払われる。		
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホームに公衆電話はないが、必要時ホームの電話やLINE 電話を利用してもらっている。携帯電話を所持している方が2名おられる。		
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自室が認識しやすいように暖簾や目印代わりのものを置いている。当たり前の生活空間を意識しながら、誤認や不安要素を和らげる配慮をしている。季節に合わせた草花や飾りつけ、雑貨等を用意しているが、「大人」の空間として相応しいことに注意している。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設全体がいつも清潔で、あたたかい空間になっている。在宅生活を送っていたときと同様な「普段の生活の暮らし」を意識されていると思います。

IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人との会話や家族からの情報をもとに、現状とのバランスを図りながら、望む暮らしに近づけるように支援している。		
41	本人主体の暮らし	本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前に前に「生活歴、生活習慣聞き取りシート」を使って詳しい情報を得て、コミュニケーションやケアに活かしている。		

42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の状態観察(バイタルチェック)を主治医へ報告し、療養上のアドバイス等の指示を受け、ケアに繋がっている。週2・3回は、看護師による健康管理も行い、医療ケアの充実を図っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の状態観察や主治医との連携が取れていることがうかがえます。 現状の取り組みを維持してほしい 医療ケアの充実を図っていることが分かります。 家族の要望も含めて、継続していただきたいと思っています。
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホーム、スタッフの都合を押し付けるのではなく、共同生活とのバランスを取りながら、本人の好むペースで暮らせるように配慮している。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時になるべく馴染みのもの持参して頂くようお願いしている。入居後も本人と相談しながら、作品を掲示するなど、カスタマイズしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の生活習慣が継続できるように努力されている。 現状の取り組みを維持してほしい 作品展示などで喜ばれる方もいらっしゃると思います。 利用者の役割の持てる機会の提供をされていることが伺えます。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	正月を家族で過ごされたり、家族との外出や外食などされる場合の支援や、冠婚葬祭での外出の付き添いも行っている。	入居者の希望に沿うように外出の機会を支援されている。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今までの生活習慣や聞き取りにより、ホーム内の家事等の活動を提供している。その内容は、状態変化等により、適宜変更している。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホーム内の馴染の方やスタッフと会話する機会を積極的に設けている。アルバムやタブレットを活用し、話のネタにすることもある。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者と会話する機会を大切にされていることがうかがえる。 積極的に会話することで日々の生活が楽しくなりいい刺激になっている。さらに様々な手法を取り入れてもらえればと思う。 自分の話ができる、聞いてくれるという環境は、安心感につながっていると思います。無理に話す機会を作るのではなく、安心感からうまれる意欲を大切にしてください。

48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の生活がすべてホームの中だけで完結しないよう努めているが、コロナ以降外出やイベント参加が減ってきている。	コロナ禍の影響でやむを得ない。今後は徐々に取り組みを デイサービスでの行事に参加することで、地域のボランティアや新堂中学校区の高齢者との関わりも持つことができるのでは。	
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は入居者のこれまでの生活史や価値観を理解することに努め、無理強いせず本人のペースで生活してもらえよう「さりげない」フォローが概ねできている。また、新規入居があった際には、ホームの環境に少しでも早く馴染んでいただけるように、丁寧にかかわることができている。外出機会が少なく、地域とのかかわりが少ないことは今後の課題である。	現状で十分できていると思う。	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない  職員が、入居者ひとりひとりに丁寧にかかわり支援することで、皆さん安心して生活できていると思う。 他項目からも、「支援」という観点より、「利用者の意思尊重」に重きを置いてかかわっておられることが伝わりました。今後は、感染症予防に努めながら、「地域との交流」を意識的に取り組んでいただきたいと思います。